

なら歴史芸術文化村の活用策の検討

【目次】

- (1) なら歴史芸術文化村の活動展開
- (2) 歴史文化資源の継承及び活用に関する事業
- (3) 芸術文化活動の振興に関する事業
- (4) にぎわいづくり・情報発信
- (5) なら歴史芸術文化村の運営・プロモーション
- (6) 令和3～4年度年間スケジュール（案）



「なぜ？」から
好奇心を旅しよう。

なら歴史芸術文化村

「なぜ？」が芽生える。
「知る」を楽しむ。

見て、触れて
五感で感じる。

感じる

体験を通して
新しい視点や
深い理解を得る。

体験する

つながる

専門家や
参加者同士とつながり、
対話する。



令和3年10月27日
なら歴史芸術文化村コミッション



(1) なら歴史芸術文化村の活動展開

なら歴史芸術文化村における活動の理念

令和4年3月21日(月・祝)開村



- 対話型鑑賞など双方向のプログラムにより、来村者との交流を重視した取組みを展開し、一人ひとりの感性や知識、関心に寄り添い、**自発的な学び**を支える
- 文化村近傍だけにとどまらず、山の辺の道等、**関連する地域を一体としてとらえた地域振興策**等を展開
- **文化村における取組みの質の向上**のため、多種多様な分野の人脈を構築

文化村でつながる、 文化村から広がる

～ 地域の魅力を歴史や芸術とつなげて
広く発信 ～

- 文化村で、奈良の豊かな地域資源（自然、歴史、文化財、食や農の営み、伝統工芸など）、芸術をつなげ、来村者が**交流し**、その魅力を語り合う。
- 歴史や芸術の**魅力**など、文化村から心豊かな文化の都・奈良を**発信**。

来村者にやさしい文化村で、 楽しい体験

～ サービスデザイン思考による
プログラムの実施 ～

- **来村者目線の思考**により、多様なプログラムを実施し、来村者の**継続的な充足体験**を実現する。
 - ・ 専門家のアドバイス等を踏まえ、継続的にスタッフのコミュニケーションスキル等を向上
- より深く**自発的な学び**を支える体験型コンテンツ、プログラムの実施。

文化村でみんなが学ぶ

～ 来村者だけではなく、
関係者全員が学べる ～

- 来村者だけでなく、地域の方々、文化の担い手、スタッフなど、**全ての者**が文化村で人と関わり、みて、聴き、感じ、考えることで**学びにつなげる**。

① 歴史文化資源の継承及び活用

- ・ 文化財修復作業の公開・解説
- ・ 文化財に親しむための企画展、土日を中心とした体験プログラムの実施
- ・ 公開・解説を行う県指定文化財の修復に対する補助
- ・ 修復対象文化財のビフォーアフターの記録映像の制作
- ・ 文化財の細部の構造等を観察できるVR・AR映像等の制作 等

② 芸術文化活動の振興

- ・ トップアーティストの作品展示・交流イベントの開催
- ・ アーティストによるワークショップの実施
- ・ 幼児向けアート・音楽プログラムの実施
- ・ 狂言体験教室等の実施 等

③ 観光・産業等の分野と連携した施策の実施による地域振興・情報発信

- ・ 文化村フェスティバル、開村一周年記念イベントの開催
- ・ 食と農の情報発信、セミナー・フェアの開催
- ・ 伝統工芸ワークショップ・展示会の開催
- ・ コンシェルジュによる情報発信 等

④ その他運営等

- ・ 文化村の運営(コミッション・運営協議会等)
- ・ 指定管理業務(レストラン・直売所の運営、ホール等の貸館業務等)
- ・ アクセスバスの運行
- ・ 広報プロモーション 等

文化財の公開修復・解説等

○ 修復作業の公開・解説

- ・文化財4分野の修復公開現場を公開解説するための解説員の確保
- ・修復作業の放映 等



○ 公開修復を行う文化財に対する支援

- ・文化村において修復過程の公開・解説を行う県指定文化財について、所有者が行う保存修復のための事業に対する補助

○ 修復作業の担い手(建築大工等)の育成

テクノロジーの活用

○ 修復作業のデジタル化

- ・修復作業の担い手の資質向上等に活用するため、修復工房で修復を行う文化財のビフォーアフターを映像で記録



○ 最先端技術の活用

- ・文化財の細部の構造等を観察できるVR・AR映像等の制作
- ・図面等の貴重な資料を公開するためのデータ整備
(建造物の図面のデジタル化等、文化財のアーカイブ化等)

地域における歴史文化資源の継承

○ 企画展の開催

- ・社寺や文化財修復に携わる関係者等、語り部との対話や体験を重視した企画展を開催
(工房での修復を終えた文化財の展示等)



○ 大学や地域との連携

- ・学生等と地域の未指定文化財を調査し、その成果を企画展等で活用することで、地域への誇りを醸成するとともに、次世代の担い手を養成

○ 体験プログラムの実施

- ・土日を中心に、来村者が楽しめる体験型プログラムを実施



芸術文化に触れる機会の提供

○ 展覧会・対話型鑑賞

- ・表現技術、年齢、障がいの有無などに関係なく、誰もが参加できる展覧会や県内芸術団体等のアート作品を展示
- ・自発的な学びを支える対話型鑑賞を実施



○ アーティストとの交流・ワークショップ

- ・国内外からアーティストを招聘、作品展示やアーティスト独自の感性を活かしたワークショップを開催
- ・公募で選ばれたアーティストが、文化村でのワーク・イン・プログレスで地域を巻き込みながら作品を制作



○ 地域連携イベントの開催

- ・地域のアーティストや芸術団体の発表の場の創出や、地域の芸術活動の情報を発信



幼少期から文化活動に親しむ機会の創出

○ 幼児向けアートプログラムの実施

- ・幼児期に個々の感性を活かした「遊び」を通じたアートを体験することで自尊心を養うプログラムを実施



○ 幼児向け音楽プログラムの実施

- ・ヴァイオリン等を用い、遊びを通して音を楽しむ幼児向け実践プログラムを実施するとともに、音楽を通じた就学前教育の意義について保護者向け講演会を開催

伝統芸能等の継承

○ 狂言体験教室等の開催

- ・気軽に能楽を体験できるワークショップや狂言体験教室、発表会を実施

○ 伝統芸能のPR

- ・太郎冠者装束せんとかんを活用し、伝統芸能のPRを実施



文化村フェスティバル、記念イベント

- 文化村フェスティバル、開村一周年記念イベントの開催
 - ・文化村をより広く周知するとともに、文化村に親しんでいただくためのイベントを開催

食と農の情報発信・体験セミナー等の開催

- 食と農の賑わいセミナーの開催
 - ・オープニングセミナー・夏休みこどもセミナー、料理教室等の開催
- 食と農の賑わい情報の発信・フェアの開催
 - ・歴史文化的背景を交えた県内の食と農の情報発信
PR映像制作、展示バナー解説資料を作成し多目的室で情報発信
 - ・季節の県産農産物・加工品の魅力を発信するフェアを開催
- 食と農の賑わい拠点活動への支援
 - ・交流にぎわい棟を拠点として実施する、食と農をテーマとした地域のにぎわいづくり活動への支援(多目的室の利用、専門家派遣など)



伝統工芸ワークショップ・展示会の開催

- 交流にぎわい棟多目的室で伝統工芸ワークショップを開催
 - ・墨型製作+おはじき墨製作体験
 - ・茶筌糸掛け体験+お抹茶体験
 - ・赤膚焼成型・絵付け体験
 - ・和紙製作体験
 - ・墨擦り+写経体験



- 伝統工芸ワークショップと連動した伝統工芸品の展示会の開催



情報発信

- 情報発信棟にコンシェルジュを配置し、来村者からの質問等の応答のほか、各種情報発信(ガイダンス)を行う
 - (ドライバー向け情報発信)
 - ・周辺マップ、パネル等の設置等
 - ・アート、芸術に関する県内市町村の情報発信
 - (ウォーカー向け情報発信)
 - ・文化村周辺の周遊マップ等の作成、配布等
 - (サイクリングへの情報発信)
 - ・サイクリングマップ等の配布
 - ・サイクルステーションの運営
 - ・サイクリング協会主催のサイクル講習会等の開催



(5)なら歴史芸術文化村の運営・プロモーション

文化村の運営

○ 多様な実施主体と連携を図り、運営目標、広報、その他運営全般に係る協議を行い、円滑な運営を実施

○ **なら歴史芸術文化村運営協議会**の設置

＜主な協議事項＞

- ・文化村運営にかかる全般事項
- ・文化村の施設の評価、目標・指標の設定
- ・広報活動や、開村記念イベントなどのイベント実施にかかる協議 等

＜構成団体＞

- ・令和3年度は下記メンバーでスタートし、必要となる構成員の追加等についても運営協議会において検討

分野	構成員
入居団体	天理市文化財課
	公益財団法人美術院
	株式会社文化財保存
	ACCU文化遺産保護協力事務所
関連団体	指定管理者
	ホテル事業者
県	文化財保存事務所
	檀原考古学研究所
	なら歴史芸術文化村整備推進室【事務局】

- ・施設の評価等について、学識者等にアドバイザーとして参画いただきご意見をいただく予定

＜スケジュール等＞

- ・11月に第1回を開催し、開村に向けて1回/月の頻度で実施を検討

交通アクセス

- 来村者の**利便性の確保・集客性向上**の観点から検討
- デマンドシステムの構築を進める事業者やバス事業者等と以下の交通アクセスについて協議中

＜天理駅と文化村の接続＞

- ・鉄道を利用する来村者の二次交通手段を確保
- ・定時運行とデマンド運行を合わせた効率的・効果的な運行を検討

＜奈良公園と文化村の直通の接続＞

- ・奈良公園と文化村間をつなぐ機動的な交通手段を確保
- ・デマンド運行を想定

広報プロモーション

○ 様々なツールを活用して、文化村の魅力を継続的に発信

手段	内容	特徴
ホームページ SNS	ホームページやSNSで情報発信(①③) インフルエンサーを活用(②③)	日々の情報を タイムリーに発信
ジャーナル	インタビューや対談 文化村での修復物の説明等を記事体 で紹介(②③)	文化財継承・活用、 芸術活動の振興を より深く発信
YouTube	文化村のコンテンツや 修復作業の一部等を動画で 定期的に配信(②③)	定期的な配信により、 文化村のファン層を 獲得
周遊マップ作成	文化村周辺地域の周遊マップを作成 (③)	文化村と地域の 来訪の相乗効果
せんとくんを活用 したPR	太郎冠者せんとくんの制作(①) せんとくん人形、着ぐるみ、 アニメーションの作成(③)	せんとくんの知名度 を活かしたプロモ- ーションの実施
その他	パンフレット、ポスター作成(②③) 公用車ラッピング(③) 教育旅行誘致(①③) 等	

※①実施済 ②準備中 ③R4年度取組

(6) 令和3~4年度年間スケジュール(案)

区分	令和3年度						GW	夏休み		令和4年度			秋の行楽シーズン		冬休み				
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
文化財修復・展示棟																			
展示	展示室 特別展示室						開村記念展	第2回	第3回				特集	第4回	第5回				
修復作業現場 の公開・解説	修復工房 (仏像等彫刻) (絵画・書跡等) (建造物) (考古遺物)			● 第3回選定委員会				【開村記念展】 「やまのへの至宝ー未来に伝える私たちの文化財ー」 (山の辺の道をテーマに地域の文化財等に焦点を当てた展示)											
体験プログラムの 実施	修復工房 (建造物) (考古遺物)			プレ的に体験講座を実施				【県指定文化財等を通年で修復・公開】											
				● 12/11 雅楽講座 (天理市)	● 12/25 仏像講座 (天理市)	● 1/8 考古講座 (橿原市)	● 1/22 絵画講座 (まほろば館)	● 2/19 建造物講座 (まほろば館)											
								【研修・講座 (大工・左官・屋根瓦制作 養成・一般体験学習)】											
								【考古学教室 (土日開催)】											
芸術文化体験棟																			
幼児向け プログラム	体験学習室 スタジオ			プレ的に体験講座を実施				【幼児向けプログラム・地域の保育園・小学校等における幼児向けプログラムの展開】											
				● 10月16-17日 (イオン橿原)															
アーティストとの交流 文化の体験	スタジオ ホール 交流カブ 屋外体験ゾーン							【アーティストとの交流・展示、アート作品対話型鑑賞等】											
伝統芸能の承継	スタジオ ホール																		
								【狂言体験教室等】											
交流にぎわい棟																			
食と農の魅力発信	多目的室							【県内各地の食と農の魅力PR展示・セミナー開催 等】											
伝統工芸 ワークショップ	多目的室							【伝統工芸品の展示・販売、伝統工芸品ワークショップの開催】											
情報発信棟・その他																			
歴史資源・観光情報 食と農の魅力発信	情報発信棟																		
								コンシェルジュによるガイダンス、情報発信											
運営・プロモーション																			
運営協議会 コミッション		● 第2回コミッション	● 運営協議会					【運営・施設の評価等について継続的に実施】											
プロモーション								【HPの開設 (7月)、SNSによる情報発信、ポスター等媒体を用いたPR、せんとくんを活用したPR 等】											
								【様々なツールを用いて文化村の魅力を継続的に発信】											